

【人材の養成に関する目的】

<p>■法学部 成蹊大学法学部は、個人の権利及び社会と組織の円滑な活動を保障する法と政治の実現に寄与することを理念とし、法と政治に関する専門的な知識を与えるとともに、それを通じて社会科学的な思考力と合理的な判断力を持った国際感覚豊かな人材の養成を図る。</p>	<p>■政治学科 1 主として地方自治から国際政治にまで至る多様な問題に関する学修を通じて、政治及び人間について思想的、歴史的及び実証的な深い考察力を養成する。 2 世界を見通す確かな分析力及び未来を構想する豊かな想像力を身につけた国際感覚豊かな人材を養成する。</p>
--	---

【ディプロマ・ポリシー（DP）】

法学部では、カリキュラムの履修について懇切な指導をするとともに、それぞれの科目についてはレポート提出や定期試験等の総合的かつ厳正な評価に基づいて単位の修得を認めることによって、学部の人材育成方針にかなうよう卒業生の質の確保に努めている。このもとで法学部政治学科は、大学全体の学位授与方針に基づき、「専門分野の知識・技能の修得」「教養の修得」「課題の発見と解決」「表現力、発信力」「多様な人々との協働」「自発性、積極性」の各項目に関して、以下の基準に到達するように編成された教育課程において、所定の単位を修得した者に対して学士（政治学）の学位を授与します。

<p>【専門分野の知識・技能】 (DP1-1) 政治学科の専門分野に関する知識・技能を修得している。 (DP1-2) 政治学的視座に基づいて、現代社会が抱える諸問題を構造的に理解する力を養成する。</p> <p>【教養の修得】（広い視野での思考・判断） (DP2-1) 人文科学、社会科学、自然科学及びこれらにまたがる学際的な分野に関する基礎的な知識を修得し、広い視野で思考・判断を行うことができる。 (DP2-2) 人文科学、社会科学、自然科学及びこれらにまたがる学際的な分野に関して、それぞれの分野の基本的な概念と基礎となる思考方法を理解し、人間社会の諸問題を多角的に把握するための論理的かつ総合的な思考力を身に付けている。</p> <p>【課題の発見と解決】（情報の調査収集・分析・解釈・論理的思考） (DP3-1) 課題の本質を発見するために必要な情報（文献、統計等を含む）を調査収集し、それらを的確に解釈・分析し、課題の解決に向けて論理的に思考する能力を身に付けている。 (DP3-2) 社会の諸問題を理解するために必要な情報（日本語または英語で書かれた文献、統計等を含む）を調査収集し、本質的な課題を発見・解決するために、調査収集した情報を的確に分析する能力（語学力に裏打ちされた読解力を含む）を身に付けている。 (DP3-3) 批判的・論理的思考力、課題探求・問題解決力、コミュニケーション能力に基づいた総合的な判断力を養成する。</p> <p>★選抜制の「LE科目」の履修生は、民法を集中的・発展的に学修することを通じて、法的な思考力を身につけている。また、選抜制の「PSE科目」の履修生は、国際コミュニケーション力の養成に特化した科目の学修を通じて、問題の発見・探究力を身につけている。</p>	<p>【表現力、発信力】 (DP4-1) 自分の意見や考えを、外に向けて的確かつ明瞭に発信できる豊かな表現力を身に付けている。 (DP4-2) 自己の世界観、人生観を確立し、それに基づく自己の意見を、外に向けて発信できる豊かな表現力を身に付けている。</p> <p>【多様な人々との協働】（コミュニケーション+協調性+チームワーク） (DP5-1) 多様な人々と協働して課題解決に取り組んだ経験を通じて、多様な価値観を受容し、協調性やコミュニケーション力を身に付け、チームの中で自分の役割を的確に果たすことができる。 (DP5-2) 多様な文化、環境、状況のもとで、多様な価値観を理解し他者を思いやり、他者の意思や感情を的確に理解して意思の疎通を行うコミュニケーション力（語学力を含む）と協調性を身に付けている。</p> <p>【自発性、積極性】 (DP6-1) 学びで獲得した知識・技能を、様々な活動（正課・正課外や学内・学外を問わず）において自発的・積極的に活用した経験を有している。</p>
--	--

※ 全学共通科目については、「全学共通科目（成蹊教養カリキュラム）：学修・教育目標（科目グループ別カリキュラム・フロー）」を参照。

科目グループ	主なDP	科目グループの学修・教育目標	1年次 配当科目・単位数		2年次 配当科目・単位数		3年次 配当科目・単位数		4年次 配当科目・単位数	
			第1ターム	第2ターム	第3ターム	第4ターム	第5ターム	第6ターム	第7ターム	第8ターム
1 基幹科目（政治学専門科目）	必修 登録必須	1-1 1-2 学問の方法を身につけ、学ぶための視野を広げるとともに、政治学を学ぶ上で基本となる科目の学修を通じて、体系的な基礎知識と理論を身につける。	現代日本の政治② 社会科学方法論Ⅰ②		社会科学方法論Ⅱ②		政治学原論④			
			政治学への案内②		憲法④					
演習科目	必修	1-1,2 3-1,3	ディプロマ・ポリシー「②」の能力を身につける。		演習ⅡA②		演習ⅡB②			
	選択	5-1,2					演習ⅢA②		演習ⅢB②	
基礎講義	選択必修	1-1 1-2 政治学の基礎的な内容を理解することにより、学修を進める上での基盤を身につける。	現代日本の行政② 政治思想の基礎② 比較政治経済② 現代の国際関係②		現代東アジア政治論② 現代ヨーロッパ政治論②					
コース科目	共通科目	1-1 1-2	コースで学ぶ内容の基礎を身につける。		日本政治史④ 西洋政治思想史④ 国際政治史④ 計量政治学④					
	政治理論・歴史コース	1-1 1-2	政治の思想・理論・歴史についての理解を通じて、「政治とは何か」を考え抜く力を身につける。		西洋政治史④ 東洋政治史④ 現代政治理論④ 政治とジェンダー④ 社会思想史④		日本政治思想史④ 文化の政治学④			
	現代政治・行政コース	1-1 1-2	現代の国家・政治社会が抱える諸問題を、政治制度や政治過程の分析を通じて構造的に理解することができる。		政治過程論④ 行政学④ 比較福祉政治④ 財政学④ 政治心理学④		地方自治論④ メディアと政治④			
	国際政治コース	1-1 1-2	現在の国際社会の仕組みや国際関係の歴史、アジア・欧米諸国など世界各地の政治社会の歴史や現状の学修を通じて、政治学における国際的視点を身につける。		アメリカ政治外交論④ 中国政治外交論④ EU政治論④ 国際法Ⅰ④ 平和研究④ 国際政治学④		国際機構論④			
選択科目	1-1 1-2	各コース科目に関連する科目の学修を通じて、さらに深く政治学を身につける。		東南アジア政治社会論④ 政治学特殊講義Ⅰ② 政治学特殊講義Ⅱ②		ラテンアメリカ政治社会論④ 中東政治社会論④ オセアニア政治社会論④		政治学特殊講義Ⅲ② 政治学特殊講義Ⅳ②		

科目グループ	主なDP	科目グループの学修・教育目標
PSE科目	1-1 1-2 3-1 3-2 6-1 6-2	国際コミュニケーション力の養成に特化した科目の学修を通じて、問題の発見・探究力を身につける。

1年次 配当科目・単位数	
第1ターム	第2ターム

2年次 配当科目・単位数	
第3ターム	第4ターム

3年次 配当科目・単位数	
第5ターム	第6ターム

4年次 配当科目・単位数	
第7ターム	第8ターム

PSEⅡA②	PSEⅡB②	PSEⅢA②	PSEⅢB②	PSEⅣA②	PSEⅣB②
--------	--------	--------	--------	--------	--------

(注)「PSE (Political Science Expert) 科目」は、選抜に合格した学生のみ履修することができる科目群である。

基幹科目(選択科目)	法律	基本	2-1 2-2	政治学を学ぶ上で必要となる民法、刑法、商法、国際法等の学修を通じて、基本的な法律知識を身につける。
		発展	2-1 2-2	外国法や過去の法制度など日本の現行法以外の法制度を研究することにより、日本の現行法をより客観的に理解する力を身につける。
		特殊講義	2-1 2-2	特定の法的トピックを取り上げ、深く研究することにより、高い法的知識を身につける。
		LE科目	2-1 2-2	民法を集中的・発展的に学修することを通じて、法的な思考力を身につける。
		法律コンデンスト	2-1 2-2	憲法、民法などの学修内容を凝縮(コンデンス)した科目を通して、法的知識をより確かなものとする(公務員試験など各種試験に備える際や、法律学科以外の学生が法律学のエッセンスを修得しようとする際に適した科目である)。
経済	2-1 2-2	「経済」に配当された科目の履修を通じて、社会科学的な思考力及び合理的な判断力を身につける。		

刑法Ⅰ④	民法ⅠA② 民法ⅠB② 民法Ⅱ④ 民法Ⅲ④ 比較法Ⅰ② 憲法Ⅱ④ 憲法Ⅲ② 刑法Ⅱ④ 国際法Ⅱ④ 行政法Ⅰ④ 行政法Ⅱ④ 裁判法② 現代法過程論④ 家族法Ⅰ② 民事手続法Ⅰ④	民法Ⅳ④ 家族法Ⅱ② 労働法④ 民事手続法Ⅱ④ 商法Ⅰ④ 商法Ⅱ② 商法Ⅲ② 商法Ⅳ② 刑事手続法④ 刑事政策④ 裁判外紛争解決手続② 経済法④ 知的財産法Ⅰ② 知的財産法Ⅱ② 知的財産法Ⅲ② 比較法Ⅱ④ 比較法Ⅲ② 社会保障法② 国際私法Ⅰ② 国際私法Ⅱ② 環境法② 租税法② 地方自治法② 倒産法② 信託法② 消費者法② 医事法② 金融法② 不動産登記法②
------	--	---

外国法研究Ⅰ② 外国法研究Ⅱ②	西洋法制史Ⅰ② 西洋法制史Ⅱ② 日本法制史Ⅰ② 日本法制史Ⅱ② 外国法研究Ⅲ④ 外国法研究Ⅳ④
-----------------	---

公法特殊講義Ⅰ② 民法特殊講義Ⅰ② 刑事法特殊講義Ⅰ②	公法特殊講義Ⅱ② 民法特殊講義Ⅱ② 刑事法特殊講義Ⅱ②	公法特殊講義Ⅲ② 民法特殊講義Ⅲ② 刑事法特殊講義Ⅲ②
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------

LEⅠ②	LEⅡ②	LEⅢ②	LEⅣ②
------	------	------	------

(注)「LE (Legal Expert) 科目」は、選抜に合格した学生及び一般の学生の中から許可された者のみ履修することができる科目群である。

コンデンスト民法Ⅰ②	コンデンスト行政法Ⅰ② コンデンスト民法Ⅱ②	コンデンスト行政法Ⅱ② コンデンスト民法Ⅲ②
------------	------------------------	------------------------

国際経済Ⅰ② 国際経済Ⅱ② 経済発展Ⅰ② 経済発展Ⅱ② ミクロ経済学基礎② マクロ経済学基礎②	近代日本経済史② 現代日本経済史② 経済史総論Ⅰ② 経済史総論Ⅱ②
---	-----------------------------------

社会科学と論理④ 健康政策論②	文化演習(英語圏)Ⅰ② 文化演習(英語圏)Ⅱ② 文化演習(英語圏)Ⅲ② 文化演習(英語圏)Ⅳ② 文化演習(ドイツ語圏)Ⅰ② 文化演習(ドイツ語圏)Ⅱ② 文化演習(ドイツ語圏)Ⅲ② 文化演習(ドイツ語圏)Ⅳ② 文化演習(フランス語圏)Ⅰ② 文化演習(フランス語圏)Ⅱ② 文化演習(フランス語圏)Ⅲ② 文化演習(フランス語圏)Ⅳ② 文化演習(中国語圏)Ⅰ② 文化演習(中国語圏)Ⅱ② 文化演習(中国語圏)Ⅲ② 文化演習(中国語圏)Ⅳ②
-----------------	--

PSEⅠA② PSEⅠB②

関連科目	選択科目	教養科目	2-1 2-2	政治学の学修に密接に関連し、複数の外国語とそれを支える文化を学ぶことで、幅広い教養と国際感覚を身につける。
		PSE基礎科目	2-1 2-2	PSE科目の導入として、専門を異にする複数の教員によるクロスオーバー演習などを通じて教養の幅を広げる。
		EAGLE科目	2-1 2-2	高い英語力を備え国際的な活動に関心のある学生を対象とした全学的なグローバル教育プログラム(EAGLE)の科目であり、グローバル市民として国際性と学際性の高い知見と教養、ビジネスや実社会で求められる主体性及び実践的なスキルを養う。
広域基礎科目	2-1 2-2	日本史・外国史・地理学・地誌など、主として中学・高校の教員をめざす学生に必要な教科の素養を養う。		

International Business② Japanese Economy② Current Topics in Business and Economics② International Relations② Regional Studies② Current Topics in Global Issues② Japanese Contemporary Issues② Japanese Traditional Culture② Current Topics in World Affairs②
--

日本史概論Ⅰ② 日本史概論Ⅱ② 世界史概論Ⅰ② 世界史概論Ⅱ② 人文地理学② 自然地理学② 地誌学②
--